

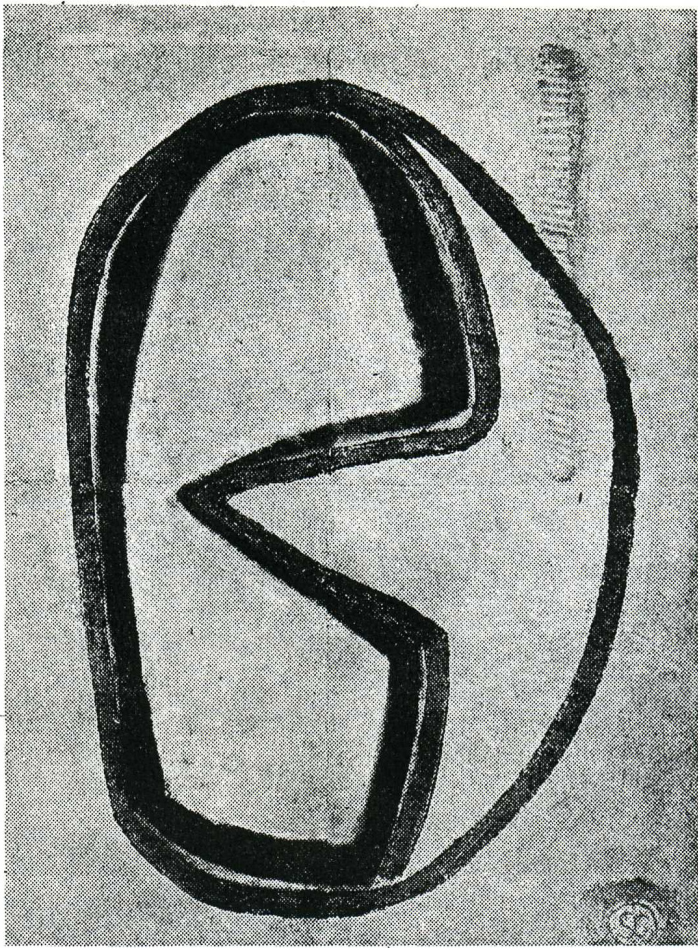
The New York Yomiuri

259号 (週刊)

©ニューヨーク流光社1991年

1991年2月1日 金曜日

発行所 ■ The New York Yomiuri News, Inc. ■ 210 W. 45th St. ■ New York, N.Y. 10019-1001 ■ 電話 (212) 512-2000 ■ 郵政番号 7910 ■ 発行所 ■ The New York Yomiuri News, Inc. ■ 210 W. 45th St. ■ New York, N.Y. 10019-1001 ■ 電話 (212) 512-2000 ■ 郵政番号 7910 ■ 発行所 ■ The New York Yomiuri News, Inc. ■ 210 W. 45th St. ■ New York, N.Y. 10019-1001 ■ 電話 (212) 512-2000 ■ 郵政番号 7910



「無題」1980、Print Painting

没後10年、サムの世界再び

75歳から創作活動 和紙使い鮮やかな色

八一年、八十七歳で初個展を開き、その数か月後に他界した抽象画家、サム・グランコフ展が、ニューヨーク市ソーホーにあるピクトリア・モンロー・ギャラリーで開かれている。

ニューヨーク生まれのサムの母親は、バルト三國の一つ、ラトビア共和国からの移民で、帽子に飾るエキゾチックな造花のデザイナーとして名を成した。サムに対しては、ルーマニアやロシアの文学・音楽を学ばせたという。

そんな環境の中で、サム

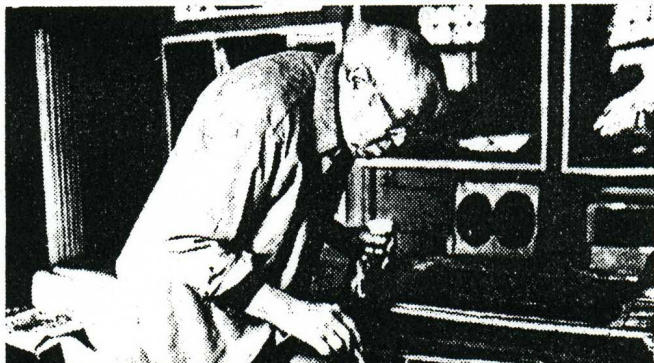
のアーティストの才能は開き、二十二歳でグループ展に参加し、好評を得た。

しかし、「仕事とアートを切り離して考えたい。僕は「生きる」ことに専念したい」という生前の言葉どおり、七十五歳で奥さんを失ってから初めて、本格的に創作活動を始めた。

その彼の作品は「遅咲きの桜」というタイトルでNYタイムズ紙で取り上げられている。

今回の展示は、サムが一九四〇年から八二年に他界するまでに描かれた作品が中心で、日本の和紙を用いていることが特徴。

八枚、六枚と和紙をはぎあわせ、大きな原紙を作ったあと「プリント・ペイン



ティング」と呼ばれる版画と絵画をミックスした独特の技法を用い、鮮やかな深みのある原色や、円をイメージした作品が多く見られる。

▼Sam Granoff
二日まで。ピ
ンロー・ギャ
Prince St. 電話
六〇〇四〇〇